あきた市議会だより

No.162
平成28年
5月6日



1月臨時会・2月定例会の概要 …… P2～4
議案等に対する会派別の表決状況 …… P4～6
代表質問 …… P7～9
一般質問 …… P10～11
議会見学会・意見交換会を開催 …… P11
常任委員会・分科会の審査から …… P12～13
新議場の紹介等 …… P14
6月定例会のお知らせ（予定） …… P14

発行／秋田市議会　編集／あきた市議会だより編集委員会
ホームページ　http://www.city.akita.akita.jp/council/
右のQRコードを読み取ると、過去の議会だよりもご覧になれます。

川添、種平、戸米川、大正寺の4小学校が統合した雄和小学校の開校式が4月6日に行われました。

1月臨時会
1月18日

2月定例会の概要
2月18日～3月18日

１月臨時会では、条例案６件および副市長の選任について同意を求める件をそれぞれ可決・同意しました。
２月定例会では平成28年度一般会計予算などの予算案16件、秋田市行政不服審査法施行条例を設定する件などの条例案32件、単行案19件および平成27年度の補正予算案17件をすべて可決しました。また、議員提案による条例案１件および意見書案１件を可決したほか、人事案２件に同意しました。

1月臨時会

秋田市職員給与条例等の一部を改正する件ほか5件を可決しました。また、秋田市副市長の選任について同意を求める件に同意しました。

人事

副市長
鎌田（かまだ）　潔（きよし）氏（再任）

平成28年度当初予算の規模

		対前年度増減率
一般会計	1,300億1,000万円	－4.3%
特別会計	738億8,395万5,000円	－1.2%
企業会計	327億4,820万9,000円	5.5%
合　計	2,366億4,216万4,000円	－2.1%

2月定例会

予算

公立美術大学大学院設置支援経費
平成29年度の大学院設置に向けた準備作業を行う秋田公立美術大学に対し、大学院棟建設費等必要な経費を交付金として交付します。
7億6千万円

がん検診等事業
胃がん、胸部（肺がん・結核）、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん、骨粗鬆症、歯周疾患の各検診を実施します。がん検診では、これまでの制度を大幅に拡充し、本市独自の自己負担の割引制度を導入して受診しやすい体制を整えることなどにより、市民の健康増進とがん等の早期発見・早期治療を図ります。
2億3千383万1千円

ふたりの出会い応援事業
20代から30代の独身男女を対象としたシングルズカフェを開設し、出会いの場を提供します。
620万4千円

第2子保育料無償化事業
現在第1子を持つ世帯で、平成28年4月2日以降に子どもが生まれた世帯を対象として、一定の所得制限の下、第2子以降の保育料を無償化します。
6千876万7千円

歩くべあきた高齢者健康づくり事業
65歳以上の仲間とチームを組んで歩く機会を促すとともに、月別歩数の集計・公表や健康情報の発信等を行うことで、高齢者の歩数の増加と定着化を図り、体力の維持と介護予防につなげます。
71万7千円


「歩くべあきた」
姿勢を正してウオーキング

不妊治療費助成事業
特定不妊治療（体外受精および顕微授精）を指定医療機関で行った夫婦に対し、治療に要する費用の一部を助成します。
助成限度額　1回20万円（または10万円）、初回のみ30万円。男性不妊治療についてはさらに15万円上乗せ。
助成回数　40歳未満は通算9回、40歳以上43歳未満は通算3回。
助成要件　前年の夫婦合算所得730万円未満。
新たに一般不妊治療費の自己負担分について、通算2年間、5万円まで助成します。
6千353万4千円

一歩先行く農業法人フォローアップ事業
農業法人が抱える課題の解決を支援することで、設立後のフォローアップを充実させ経営力の高い農業法人を育成します。また、経営に関する不安を緩和することにより、新たな農業法人の育成を図ります。
472万8千円

中小企業金融対策事業

中小企業の経営基盤の強化を図るため、金融機関に融資原資を預託し、信用保証協会の信用保証付きの長期・低利の融資あっせんを行います。

48億8千807万9千円

市立体育館ハピネッツホームアリーナ化整備事業

市立体育館を秋田ノーザンハピネッツのホームアリーナとするために必要な整備を行います。

・手動式移動仮設席購入
・ピロティ等改修工事

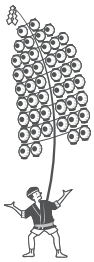
3億6千万円

オール秋田「食と芸能」大祭典開催経費

夏祭り前に県内の芸能・祭り・行事や、食を集結するイベントを開催し、全県域に及ぶ秋田の夏祭りへの誘客につなげるとともに、県内の広域的な観光PRの発信に取り組みます。

日　程　28年6月3・4・5日
開催場所　エリアなかいち等

1千500万円



ラグビーワールドカップ2019キャンプ地誘致事業

フィジー共和国へ県知事、秋田商工会議所会頭および市長が訪問し、キャンプ地誘致協定締結に向けたトップセールスで本市をキャンプ地として確実なものとするとともに、秋田の観光・文化・スポーツを広くPRします。

295万5千円



秋田ノーザンブレッツ

中心市街地活性化基本計画推進経費

中心市街地の活性化を図るため、平成28年度内の内閣総理大臣認定を目指し、第2期中心市街地活性化基本計画を策定するとともに、秋田市中心市街地活性化協議会が行う、中心市街地の活性化の総合的かつ一体的な推進を支援します。

1千160万2千円

再生可能エネルギー導入支援事業

再生可能エネルギーの利用促進により、温室効果ガスの排出抑制とエネルギーの地産地消を図るため、太陽光発電設備や木質ペレット燃料等の再生可能エネルギー利用機器の導入費用の一部を補助します。

2千94万9千円

ホタル生息環境保全事業

ホタルが生息できる環境づくりを行っている市民団体等を支援するとともに、市民に対しては、自然環境を保全する意識の醸成を図ります。

59万7千円



ホタル観察会



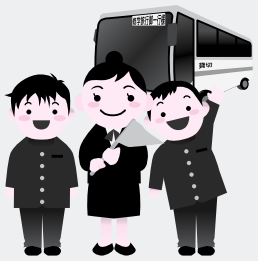
地方創生加速化交付金関係事業

首都圏等修学旅行誘致事業

「体験できる秋田市」をキーワードに、本市ならではの体験観光を掘り起こし、修学旅行等を誘致するほか、一般観光客向けの事業展開も行います。（男鹿市、東京都荒川区との広域連携）

・（公財）秋田観光コンベンション協会が実施する事業に対する交付金の交付
・観光タクシー補助事業（延べ400台分）
・国際教養大学英語体験教室支援事業
・都市農村交流モデル事業
・荒川区との交流事業（中学生の秋田体験旅行受け入れ）

2千222万6千円



都市・農村交流促進事業

都市と農村の共生・交流を促進するため、都市農村交流活動への支援や体験・交流のための企画等を行います。

515万4千円



農家民宿「重松の家」

農商工連携ビジネス支援事業

「秋田市農産加工品等販売促進協議会」が実施する首都圏展示会出展と県内商工業者とのマッチング商談会開催等を支援し市内農産加工品の製造・販売拡大を図るほか、アグリインキュベーション・マネージャーを配置し、農業ビジネスへの参入を目指す起業家を育成支援します。また、JA新あきたや県、金融機関等と連携し、地場産品食材加工施設の整備計画の策定を支援します。

1千88万8千円

条例

秋田市行政不服審査法施行条例を設定

行政不服審査法等の施行に伴い、審査請求の審理手続きに必要な事項を定めるとともに、秋田市行政不服審査会を設置するため、条例を設定しました。

施行期日　28年4月1日から

秋田市児童館条例を改正

雄和児童センターを設置するため、改正しました。

設置場所　雄和妙法字上大部（かみだいぶ）48番地1

施行期日　28年4月1日から



雄和児童センター

単行案

秋田市商工業振興条例を改正

奨励措置の適用対象者の拡大を図るため、情報通信関連事業所等の建物の賃借による新設等について、奨励措置の対象要件となる常時使用する従業員数および賃借床面積を改正しました。

施行期日　28年4月1日から

秋田市旧庁舎解体および新庁舎屋外環境整備工事請負契約を締結

秋田市旧庁舎解体および新庁舎屋外環境整備工事を施工します。

工期　29年12月15日まで

契約金額　7億8千732万円

契約先　中田・加藤・中央特定建設工事共同企業体

人事

教育委員会委員

石田英憲（いしだひでのり）氏（再任）

固定資産評価審査委員会委員

木村了（きむらさとる）氏（再任）

議案に対する会派別の表決状況

◇ 1月臨時会の結果

（　）内の数字は所属議員数。ただし、秋水会は議長を除く。

	件名	秋水会(15)	そうせ(6)	市民ク(4)	公明党(4)	フロ秋(4)	社・市(3)	共産党(2)	議結	決果
市長提出	◆秋田市職員給与条例等の一部を改正する件 ◆特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する件 ◆教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○1 ×2	×	可決	
	◆秋田市議員報酬、報酬等の額およびその支給方法に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○2 ×2	○1 ×2	×		
	◆秋田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する件 ◆秋田市市税条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○		
	◆秋田市副市長の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	同意	

◇ 2月定例会の結果

	件名	秋水会(15)	そうせ(6)	市民ク(4)	公明党(4)	フロ秋(4)	社・市(3)	共産党(2)	議結	決果
市長提出	◆平成27年度秋田市一般会計補正予算（第５号）の件	○	○	○	○	○	○	×	可決	
	◆平成27年度秋田市土地区画整理会計補正予算（第３号）の件 ◆平成27年度秋田市市有林会計補正予算（第２号）の件 ◆平成27年度秋田市市営墓地会計補正予算（第２号）の件 ◆平成27年度秋田市中央卸売市場会計補正予算（第２号）の件 ◆平成27年度秋田市公設地方卸売市場会計補正予算（第２号）の件 ◆平成27年度秋田市廃棄物発電会計補正予算（第２号）の件 ◆平成27年度秋田市国民健康保険事業会計補正予算（第２号）の件	○	○	○	○	○	○	○		
	◆平成27年度秋田市母子父子寡婦福祉資金貸付事業会計補正予算（第１号）の件	○	○	○	○	○	○	×		
	◆平成27年度秋田市介護保険事業会計補正予算（第４号）の件 ◆平成27年度秋田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第３号）の件 ◆平成27年度秋田市水道事業会計補正予算（第２号）の件 ◆平成27年度秋田市下水道事業会計補正予算（第３号）の件 ◆平成27年度秋田市農業集落排水事業会計補正予算（第２号）の件 ◆秋田市新庁舎建設工事請負契約の変更契約を締結する件	○	○	○	○	○	○	○		
	◆平成27年度秋田市一般会計補正予算（第６号）の件	○	○	○	○	○	○	×		
	◆平成27年度秋田市土地区画整理会計補正予算（第４号）の件 ◆平成27年度秋田市下水道事業会計補正予算（第４号）の件	○	○	○	○	○	○	○		

議案に対する会派別の表決状況

◇ ２月定例会の結果

（　）内の数字は所属議員数。ただし、秋水会は議長を除く。

	件名	秋水会(15)	そうせ(6)	市民ク(4)	公明党(4)	フロ秋(4)	社・市(3)	共産党(2)	議結果
市長提出	◆ 平成28年度秋田市一般会計予算の件	○	○	○	○	○1 ×3	○	×	可決
	◆ 平成28年度秋田市土地区画整理会計予算の件 ◆ 平成28年度秋田市市有林会計予算の件 ◆ 平成28年度秋田市市営墓地会計予算の件 ◆ 平成28年度秋田市中央卸売市場会計予算の件 ◆ 平成28年度秋田市公設地方卸売市場会計予算の件 ◆ 平成28年度秋田市大森山動物園会計予算の件 ◆ 平成28年度秋田市廃棄物発電会計予算の件 ◆ 平成28年度秋田市病院事業債管理会計予算の件	○	○	○	○	○	○	○	
	◆ 平成28年度秋田市国民健康保険事業会計予算の件	○	○	○	○	○	○	×	
	◆ 平成28年度秋田市母子父子寡婦福祉資金貸付事業会計予算の件 ◆ 平成28年度秋田市介護保険事業会計予算の件 ◆ 平成28年度秋田市後期高齢者医療事業会計予算の件 ◆ 平成28年度秋田市水道事業会計予算の件 ◆ 平成28年度秋田市下水道事業会計予算の件 ◆ 平成28年度秋田市農業集落排水事業会計予算の件 ◆ 秋田市行政不服審査法施行条例を設定する件 ◆ 秋田市情報公開・個人情報保護審査会条例を設定する件 ◆ 秋田市公文書管理条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市職員定数条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市職員の退職管理に関する条例を設定する件 ◆ 秋田市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市議員報酬、報酬等の額およびその支給方法に関する条例の一部を改正する件 ◆ 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する件 ◆ 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市土地開発基金条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市コミュニティセンター条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市河辺岩見温泉交流センター条例を設定する件 ◆ 秋田市消費生活センターの組織および運営等に関する基準を定める条例を設定する件 ◆ 秋田市児童館条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市商工業振興条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市建築審査会条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市建築物エネルギー消費性能向上計画等認定手数料条例を設定する件 ◆ 秋田市建築基準法関係手数料条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市特別用途地区内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	
	◆ 秋田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する件	○	○4 ×2	○	○	○3 ×1	○	×	
	◆ 秋田市宅地開発に関する条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市長期優良住宅建築等計画認定等手数料条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市文化会館条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市火災予防条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市過疎地域自立促進計画を定める件 ◆ 包括外部監査契約を締結する件 ◆ 秋田市寺内地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市旭北地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市上北手地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市桜地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件	○	○	○	○	○	○	○	

←６ページに続きます

議案、請願・陳情に対する会派別の表決状況

◇ ２月定例会の結果

（　）内の数字は所属議員数。ただし、秋水会は議長を除く。

	件名	秋水会(15)	そうせ(6)	市民ク(4)	公明党(4)	フロ秋(4)	社・市(3)	共産党(2)	議結果
市長提出	◆ 秋田市雄和地区北部コミュニティ施設の指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市雄和農林漁家婦人活動促進施設の指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市雄和山村交流センターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市北部市民サービスセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市河辺市民サービスセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市雄和市民サービスセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市中央市民サービスセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市河辺高齢者健康づくりセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市河辺ユフォーレ公園施設の指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市河辺岩見温泉の指定管理者の指定の期間を変更する件 ◆ 市道路線を認定する件	○	○	○	○	○	○	○	可決
	◆ 秋田市旧庁舎解体および新庁舎屋外環境整備工事請負契約を締結する件	○	○	○	○	○	○	×	
	◆ 秋田市職員給与条例等の一部を改正する件 ◆ 秋田市指定居宅サービス等の事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備および運営ならびに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市指定介護予防サービス等の事業の人員、設備および運営ならびに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例等の一部を改正する件 ◆ 秋田市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	
	◆ 秋田市教育委員会委員の任命について同意を求める件 ◆ 秋田市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出	◆ 秋田市議会委員会条例の一部を改正する件 ◆ 地方公会計の整備促進に関する意見書提出の件	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願	◆ 秋田市文化会館に関する意見交換会の再度開催について	×	○	×	×	○	○	○	不採択
陳情	◆ 労働時間と解雇の規制強化に関する意見書の提出について	×	○	×	×	○	○	○	
	◆ 全国一律最低賃金制度の実現を初めとした最低賃金の改善と中小企業支援の拡充に関する意見書の提出について	×	×	○	×	○	○	○	
	◆ 安全保障関連法の廃止に関する意見書の提出について ◆ 安全保障関連法の廃止に関する意見書の提出について ◆ 憲法違反の安全保障関連法の廃止に関する意見書の提出について	×	○4 ×2	○1 ×3	×	○	○	○	
	◆ 外旭川テーマパーク構想の実現について ◆ 外旭川テーマパーク構想の実現について	×	○	○1 ×3	○	○	×	×	

★会派内で賛否が分かれた場合、賛成（○）と反対（×）の人数を数字で掲載しています。
★略記している会派の名称
「そうせ」はそうせい、「市民ク」は市民クラブ、「公明党」は公明党秋田市議会、「フロ秋」はフロンティア秋田、「社・市」は社会・市民連合、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団

各議員の表決状況は市議会ホームページで公開しています。

秋田市議会ＨＰ ▶ 議会の日程と議案の結果 ▶ １月市議会臨時会 ２月市議会定例会 ▶ 議員の表決状況

［継続審査となった案件］　陳情◆中高一貫教育校としての御所野学院の存続について

継続審査とは…議案等の審査に当たり、さらに調査する必要があるなどとして会期中に審査を終了できない場合、委員会からの申し出により、会期終了後も引き続き審査を行うことをいいます。

意見書を提出しました

秋田市議会の意見として、次の意見書を国会および関係行政庁に提出しました。

○地方公会計の整備促進に関する意見書

代表質問

市政全般にわたり、会派を代表して６人の議員が質問しました。

秋水会 小木田 喜美雄

◇市政経営に対する市長の基本姿勢◇平成28年度当初予算と今後の財政見通し等◇中心市街地の活性化とにぎわいの創出◇交通機能の充実◇都市計画の考え方◇新庁舎◇工事等の入札◇上下水道事業◇教育・スポーツ行政◇市立秋田総合病院◇絆づくり

地方創生

問　秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の特徴は何ですか。

答　本市の将来人口に及ぼす影響度は、社会増減より自然増減の方が大きいという人口ビジョンの分析結果を踏まえ、秋田市総合戦略では、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を基本目標の一番目に設定したことが最大の特徴であり、それぞれのライフステージに合わせた施策を切れ目なく展開していきたいと考えています。また、エイジフレンドリーシティ構想を進めている本市独自の基本目標として、「高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進める」を設定したことも特徴の一つと考えています。

今後の財政見通し

問　人口減少下における持続可能な財政構造の構築について、どのように考えていますか。

答　人口減少の進行は、納税者の減少や地域経済の成長の鈍化につながる恐れがあり、市税等の自主財源減少の要因となるほか、福祉サービスや公共施設の維持管理など、市民一人当たりの行政コストの増加も予想され、将来の行財政運営における課題ととらえています。こうしたことから、人口減少下においても持続可能な都市経営を進めていくため、将来の財政需要に備えた公共施設等整備基金への積み立てや、負担軽減を見据えた市債発行の抑制などの取り組みを進めながら、歳入規模に見合った歳出構造を堅持していくとともに、引き続き選択と集中に基づく予算を編成していくことが肝要と認識しています。

そうせい 小原 譲

◇新・県都『あきた』成長プラン推進計画◇行財政運営◇シティプロモーション◇国際交流の推進◇社会保障・税番号制度◇福祉行政◇健康寿命の延伸◇若者支援◇農業◇公共交通◇教育行政◇選挙

ゼロ予算事業（※1）

問　ゼロ予算事業の実施に係る課題は何ですか。また、予算事業とゼロ予算事業はどのようにすみ分けていますか。

答　本市では、これまでも直接的な経費を掛けずに、既存施設や人材、ネットワーク等を有効活用し、行政サービスの向上を図ってきました。平成27年度は、20代から30代の独身男女に出会いの場を提供するシングルズカフェ秋田をゼロ予算で試行実施したところです。課題としては、事業の周知や、市民協働推進体制のあり方などが挙げられます。今後も、それぞれの事業目的に応じ、必要な部分には集中的に経営資源を投入するなど、実効性の高い取り組みを進めていく必要があると考えています。

若者支援

問　若者を支援する部署を設置して積極的に推進をするべきではありませんか。

答　本市では、総合戦略の中で、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」と「安定した雇用を創出する」を基本目標に掲げ、シングルズカフェ秋田やアンダー35正社員化促進事業などの若者支援策を積極的に展開していくこととしています。次代の親の育成にもつながる若者支援は、子ども関連施策と継続的かつ一体的な実施により効果が得られるものと考えていることから、子ども未来部を中心に関連部局との連携を強化し、若者がいきいきと活躍できる社会の実現に取り組んでいきます。



シングルズカフェ

※１　**ゼロ予算事業**…新たな予算を組まずに既存の施設や人材を使って行う政策・行政サービス。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

代表質問

市民クラブ 花田清美

◇人口減少社会における行政経営のあり方◇アベノミクスの「新・三本の矢」と一億総活躍社会の実現◇まちづくり◇TPP（環太平洋パートナーシップ協定）◇社会保障・税番号制度◇小中学校の適正配置◇御所野学院の今後のあり方◇生活困窮者自立支援制度◇自殺対策◇子育て支援◇市立秋田総合病院◇地元大学等との連携

子育て支援

問　第2子保育料無償化事業において、平成28年4月1日以前に生まれた第2子の無償化や所得制限の撤廃を検討するべきではありませんか。

答　本事業は、限られた財源の中で費用対効果を考慮し、入所児童の約7割を対象とした制度設計としています。すべての第2子の無償化や所得制限の撤廃は、さらに多額の費用を要するため、現時点では困難と考えていますが、今後も事業の効果を見極めながら子育て支援の充実に取り組んでいきます。

市立秋田総合病院

問　市立秋田総合病院の改築について、多くの市民や病院利用者は早期の建て替えを望んでいることから、設置者としてさらなる早期の建て替えを働きかけるべきではありませんか。

答　独立行政法人市立秋田総合病院が本市に提出した検討報告書によると、現地建て替えにより用地の取得等に要する期間が不要となることから、平成28年度中に基本構想の取りまとめ、平成29年度に基本設計、平成30年度に実施設計を行い、平成31年度から平成33年度まで建設工事を施工する計画が最短のスケジュールとなっており、本市としても、同法人の想定スケジュールを早めることは困難であるととらえています。


市立秋田総合病院

公明党秋田市議会 成沢淳子

◇産業振興及び雇用創出◇女性の活躍の推進と子育て支援◇防災◇高齢者対策◇市立秋田総合病院◇予防接種事業◇観光◇移住・定住◇環境◇教育行政◇選挙◇上下水道事業

航空機関連産業の振興

問　成長産業とされる航空機関連産業について、県と連携し、市内企業に対して同産業の振興を働きかけるべきではありませんか。

答　航空機関連産業には、市内企業6社が参入しており、広域にわたる企業連携や高度な技術支援が必要とされる産業分野であることから、本市としては、県が主催するセミナーや人材育成研究会への参加を働きかけるなど機運の醸成を図りながら、市内企業の事業拡大や新規参入を支援していきます。

大規模石炭火力発電所

問　飯島地区に大規模石炭火力発電所が建設されることにより、本市経済にどのような影響を与えると考えていますか。

答　同発電所の建設構想について、新聞報道では、総事業費3千億円規模、雇用200人以上を見込むとされていることから、本市の産業振興や雇用創出に大きな波及効果が見込まれるほか、石炭の輸入等により秋田港のさらなる活用が期待されると受け止めています。

子育て支援

問　各市民サービスセンターの子育て交流ひろばを拠点として、秋田市版ネウボラ（※2）を行うなど地域に密着した子育て支援策を講ずるべきではありませんか。また、子育て交流ひろばに助産師等を常駐させ、専門的な相談にも対応するべきではありませんか。

答　本市では、子育て交流ひろば等に保健師、栄養士、歯科衛生士が出向いて健康教育や育児相談を行っています。新たに実施する秋田市版ネウボラは、開設後の利用状況等を把握しながら、より地域に密着した市民が利用しやすい体制を検討するなど、今後も安心して子どもを産み育てやすい環境づくりに努めます。

※2　**ネウボラ**…フィンランドの子育て支援制度で、妊娠期から出産、子供の就学前までの間、母子とその家族を支援する目的で、地方自治体が設置、運営する拠点のこと。

代表質問

市政全般にわたり、会派を代表して６人の議員が質問しました。

フロンティア秋田 小林一夫

◇平成28年度当初予算等◇商工業の振興◇農林水産業の振興◇秋田市有建築物中長期保全計画と秋田市公共施設等総合管理計画◇「秋田北／農／工／商共存型まちづくり構想」の検証◇秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略◇介護保険施設等◇旧県立美術館◇18歳選挙権◇御所野学院

保育料の負担軽減

問　保育料について、保護者の負担を軽減する考えはありませんか。

答　本市は、独自に国基準より減額しているほか、国の制度に基づいた多子軽減や税額に応じた保育料助成により、負担軽減を図っています。また、平成28年度は第２子保育料無償化事業により、さらなる負担軽減を図ることとしています。

介護保険施設

問　特別養護老人ホームの入所待機者の推移と入所待機者解消に向けての対応はどうですか。

答　４月１日現在の待機者は、平成25年度が953人、平成26年度が1千135人、平成27年度が894人です。入所待機者の解消に向け、第５期介護保険事業計画で特別養護老人ホームを293床整備し、今期計画で地域密着型特別養護老人ホーム等を362床整備しています。今後の施設整備については、次期計画で検討していきます。

御所野学院

問　御所野学院検討プロジェクトの今後の協議事項と最終決定までの過程はどうですか。

答　今後の協議は、併設型一貫校としての継続や、連携型一貫校への移行について検証するとともに、学院が培ってきた教育プログラムが継続できるか、地元中学校の設置を求める声にどのように配慮するかという視点を大切にしなければならないと考えています。検討過程においては、保護者などの学院関係者から聴取した意見を参考に、引き続き慎重かつ丁寧に協議を重ね、一定の方向性を示していきたいと考えています。

社会・市民連合 長澤孝政

◇市長の政治姿勢◇地域行事◇文化財保護◇小中学校施設の老朽化への対応◇地下道及びトンネル内での安心安全対策◇人事行政◇雪に強いまちづくり

地下道およびトンネル内での安心安全対策

問　利用者への安全確保についての整備状況はどのようになっていますか。また、事件および事故防止対策をどのように講じていますか。

答　本市が管理する地下道およびトンネルについては、施設内における視認性の向上や、大雨の際の事故防止を目的に、照明灯のＬＥＤ化や冠水表示板等を整備するとともに、いたずら防止など施設の保全を目的とした監視カメラを２カ所の地下道に設置し、利用者の安全確保に努めてきました。今後は、さらなる安全対策の実施や、事件事故防止対策に効果が期待できる防犯カメラの設置についても、先進都市における取組状況を調査の上、関係機関と協議を進めていきます。

文化財保護

問　秋田城跡歴史資料館の開館に伴う史跡公園の整備と連絡橋の建設見通しはどうなっていますか。

答　秋田城跡への理解を深めるためには、史跡公園の整備を進めることが重要であり、現在、政庁から外廓東門に至る城内東大路の整備を進めています。完成後は、資料館北側において外廓西門や倉庫群などの復元整備を実施し、史跡公園のさらなる充実を図ることにしています。また、資料館と史跡公園をつなぐ連絡橋については、見学者の利便性向上に資するものととらえており、その建設時期についても検討していきます。



秋田城跡歴史資料館
（４月16日オープン）

■本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル102ch）と、市議会ホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

６月定例会の本会議は、６月９日、20日、21日、22日、７月１日に開催予定です。

一般質問

市政全般にわたり、３人の議員が質問しました。

秋水会 細川信二

◇コンパクトシティ◇県・市連携文化施設◇移住・定住の促進◇子育て支援◇港湾地域の振興◇観光施策

港湾地域の振興

問 **セリオンからフェリーターミナルまでのエリアをウッドデッキ化するなど、魅力向上につながる施策を展開するべきではありませんか。**

答 港湾整備に当たっての海や港に親しめる親水性の確保は、市民の余暇活動での利用のほか、クルーズ船やフェリーで本市を訪れる観光客にとってのゲートウェイ機能の拡充など、港湾エリアの魅力向上につながるものととらえています。今後の港湾エリアの整備等については、新たな港湾計画で定められることになりますが、本市としては、策定の過程で開かれる長期構想委員会や地方港湾審議会において、ウッドデッキ化などエリア内の親水性の向上策が、新たな計画に位置付けられるよう、港湾管理者である県に働きかけていきます。



ポートタワーセリオン周辺

子育て支援

問 **保育士の処遇改善に向けた本市独自の支援策を行うべきではありませんか。**

答 国の調査によると、保育士の給与は他の業種に比べ低い状況となっており、本市においても同様の状況であると認識しています。そのため、本市では平成27年度、保育士の有資格者にアンケート調査を行い、その結果を踏まえ、処遇改善を含めたさまざまな支援の手法について検討することとしています。



そうせい 小松健

◇コミュニティー新時代の幕あけに当たって

市民協働

問 **市民協働、都市内地域分権および住民自治などの制度・施策のよりどころとなる指針等や、これらにかかわる理念や関係者の責務・役割・基本方針などを明示する条例を、新たに整備してはどうですか。**

答 本市では、住民自治の充実を目指し、市民協働・都市内地域分権によるまちづくりを「新・県都『あきた』改革プラン」の改革項目に位置付け、平成28年度からの「新・県都『あきた』成長プラン」においても、計画推進の視点として盛り込む予定です。また、中央市民サービスセンターの開設で、市民協働・都市内地域分権の拠点施設が7地域すべてに設置されることから、この機をとらえ、社会の実情等に応じながら、市民活動に関する新たな指針等の整備を検討したいと考えています。

活動人口の創出・拡大

問 **生涯学習など、「活動人口の創出・拡大」の源泉となる社会参加活動や市民活動に対して、大胆な支援策を講じてはどうですか。**

答 生涯学習活動については、多くの市民が、あらゆる機会、場所を利用して学ぶことができるよう、学習情報の提供やすべての世代にわたる学習機会の充実などを通じて支援していきます。また、それらを含めた社会参加活動や市民活動に対し、市民相談センターへの相談窓口の設置や地域づくり交付金による支援のほか、平成28年度から「協働サポート交付金」を開始し、変化し続ける社会動向等へ対応していきます。さらに、全庁的な市民協働の取り組みにより、多様な主体による活動が展開され多くの市民がかかわっていくことで、「活動人口」の創出や拡大につながっていくものと考えています。



議会の動き

2月12日　各派会長会議
15日　議会運営委員会
18日　2月定例会（3月18日まで）
3月18日　編集委員会
4月8日　編集委員会
14日　編集委員会

一般質問

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

秋水会 赤坂光一（あかさかこういち）

◇市長の政治姿勢◇人口減少対策◇きずなでホットしてぃあきた寄附金◇都市内地域分権の推進◇市民福祉の増進等◇大森山動物園◇ごみ屋敷への対応◇農業振興等◇幼児教育◇選挙制度◇地域の諸課題

ごみ屋敷への対応

問 **ごみ屋敷に対応する条例を設定するべきではありませんか。**

答 いわゆる「ごみ屋敷」について、全国的には、個人の財産権や金銭面、居住者自身の心身上の問題などから、解決に至らない案件が多々ありますが、最近、福祉的な支援も併せて行ったことにより、解決に至った事例も出てきています。このため、本市としては、単にごみの問題としてとらえるだけでなく、居住者への福祉的な支援も含めた条例の整備が必要であると考えており、関係部局において課題や対応策を整理し、9月定例会に提案できるよう準備を進めていきます。

新屋地区のまちづくり

問 **新屋地区を「学園のまち」として、ハード・ソフト両面からさらなる整備をする考えはありませんか。**

答 新屋地区では、秋田公立美術大学の学生が伝統行事に参加し、地域交流を深めているほか、「あらやちゃぷちゃぷ大学」など、学生主体の地域活動も行われています。さらに、地元商店会とともに街並みを芸術で彩る産学連携事業等の実施など、美術大学ならではの取り組みも進められています。本市でも、地域住民や美大の学生の参画により新屋まちづくり基本構想を策定し芸術文化によるまちづくりに取り組んでおり、こうしたまちづくりを進めることにより、芸術と文化が薫る学園のまちとして新屋地区の魅力が高まると考えています。



あらやちゃぷちゃぷ大学
主催のイベントの様子

議会見学会・意見交換会を開催



議場の説明

平成28年２月25日（木）、議会活性化の取り組みの一環として、市内の大学生で組織する「ＡＫＩＴＡ未来創生塾」のメンバー８人を迎えての議会見学会・意見交換会を試験的に行いました。

意見交換会では学生ならではの疑問や新鮮な意見が出され、５人の市議会議員と活発な議論が交わされました。



意見交換会での質問の様子



市議会議員が学生の質問に回答

～参加者のアンケートより～

- もっと詳しく知りたいと感じたので、今後は政治に少しでもかかわっていきたい。
- 議員は堅いイメージでしたが、皆さん気さくな方で親しみやすかった。
- 普段入れない場所に入ることができて感動した。

予算決算委員会分科会の審査から

総務分科会

総務部、企画財政部、会計課、消防本部などの所管事項

委員　**県・市連携文化施設整備推進事業について、県と市が建設候補地としている現県民会館所在地については周りに堀があることや、秋田中央道路のように地盤沈下が発生する不安があることから、地質調査を実施した上で、建設地としてふさわしいかを判断するべきではありませんか。**

企画財政部　平成28年度は現県民会館所在地の測量等の調査および当該地の形状に合わせた整備計画を策定する予算を計上しており、地質調査は整備計画を認めてもらい、当該地を建設地と決定した後に、設計の前段階で行いたいと考えています。今後、当該施設の建設は万全の態勢で臨む必要があることから、いろいろな角度から順を追って調査していきたいと考えています。

厚生分科会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

委員　**第2子保育料無償化事業について、本市の出生数はここ数年2千200人前後で推移していますが、本事業を実施しても出生数が増加せず、効果が見られない場合は、本事業の再検討が必要と思いますがどうですか。**

子ども未来部　本市では、子どもが一人だけの世帯が約40％となっています。また、全出生数に占める第2子の割合も、平成26年度で、県では38・05％ですが市では36・81％となっており、第2子が少ない状況です。このため、本事業では、この部分を底上げして、全体の出生数を増やすことを目的としていますが、特に、第2子が増えているのかどうかを見極める必要があるため、毎月、第2子などの出生数を過去のデータと比較し、検証することとしています。結果として効果が見込まれない場合には、再度、事業内容を精査し、より実効性のある対策を講じなければならないものと考えています。

教育産業分科会

商工部、農林部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員　**貿易振興に力を入れている中で、貿易振興費が昨年より約1千100万円の減額となった理由は何ですか。また、貨物の取扱量の見通しはどうですか。**

商工部　貿易振興費の主な減額理由は、県と市で運用している秋田港コンテナ航路開設促進事業の市内企業による利用率が著しく低いことから、利用実績に基づき負担金の負担割合を見直したためです。貨物の取扱量については、市内企業を対象としたインセンティブ制度である海外展開促進事業を新規に立ち上げるほか、コンテナ貨物の集積に効果的なポートセールスを実施し、その増加に努めることとしています。



秋田港国際コンテナターミナル

建設分科会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員　**立地適正化計画策定調査経費については、都市機能の誘導や居住誘導に関する基礎的調査を行うとのことですが、具体的にどのような調査を行うのですか。また、同計画策定のスケジュールはどうですか。**

都市整備部　同計画は、都市のコンパクト化を進めるアクションプランとして位置付けられているものであり、平成28年度に行う調査においては、現状把握のための人口や土地利用などの各種基礎データの収集と将来見通しの分析、各部局において策定している計画との関連性の整理、分析結果を踏まえた計画策定に当たっての課題の抽出および将来都市構造の検討を行うものです。これらの調査結果を踏まえ、平成29年度以降に、本格的に同計画の策定を進めたいと考えています。

常任委員会の審査から

総務委員会

総務部、企画財政部、会計課、消防本部などの所管事項

委員　**現本庁舎等の解体工事のスケジュールはどうですか。また、解体工事の進捗状況により駐車場の場所および台数が変更されると思いますが、市民にいつ、どのように周知するのですか。**

総務部　解体工事は、6月ごろから福祉棟の解体に着手し、その後に議場棟の解体を行うこととしており、議場棟を解体後、土地を整備し駐車台数を増やした後に、現本庁舎を解体する予定です。工事の進捗状況により駐車台数の変更があることから、その都度、変更内容をホームページ、新聞などを通じて市民へ周知していきます。



旧秋田市役所議場棟

厚生委員会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

委員　**秋田市過疎地域自立促進計画について、今後、地域から新規事業として、林道整備等を要望された場合、過疎債対象事業として同計画へ組み入れることは可能なのですか。**

市民生活部　同計画に記載されている内容に含まれる事業であれば、過疎債の対象として実施することが可能です。一方、同計画に含まれていない新規事業が提案された場合には、計画内容の変更について検討し、必要性が認められれば本計画に組み入れられるものです。



岩見川

教育産業委員会

商工部、農林部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員　**現在の秋田市商工業振興条例では、奨励措置の適用対象者について情報通信関連事業所の建物賃借による新増設の場合、常時使用する従業員が20人以上、床面積が130平方メートル以上という要件を設けていますが、企業から見た場合、これまでの制度は利用しづらかったのですか。また、条例を改正した場合、制度の利用見通しはどうですか。**

商工部　本市におけるＩＣＴ企業を含む情報通信関連事業所は、その約８割が従業員数が20人未満であり、現行制度の新規雇用20人以上という適用要件と企業の実態が合致していない状況でした。また、これまでの企業訪問の際、この制度の新規雇用人数の要件緩和に対する要望や提言が多かったことから、今回の条例改正により、本市への進出を前向きに検討する企業が増える可能性は高いと考えています。

建設委員会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員　**秋田市建築基準法関係手数料条例の一部改正により新たに規定される小荷物専用昇降機とはどのようなものですか。**

建設部　小荷物専用昇降機とは、建築基準法において、物を運搬する昇降機で床面積が１平方メートル以下かつ高さが1.2メートル以下のものと定義される小型のエレベーターであり、学校などで給食や荷物等を運搬するために設置されているものです。



小荷物専用昇降機



〒010－8560 秋田市山王一丁目1番1号 秋田市議会事務局
電話018（888）5784 ファクス018（888）5783

この冊子は全戸配布しています

6月定例会から新しい議場で本会議を行います

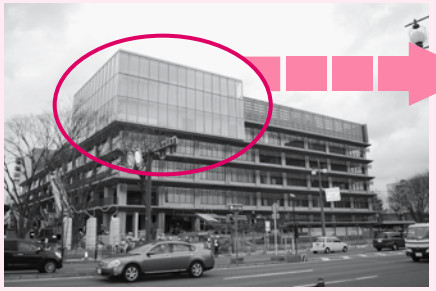
～新しい議場におこしください～

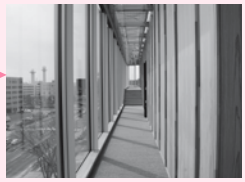


議場は新庁舎のどこに移転したの？



新しい議場と議会事務局は新庁舎の5階です。
新しい議場の一部をご紹介します。





ガラス張りの廊下沿いに
傍聴席の入口があります





傍聴席はどうなったの？



スロープや車いす用スペースを整備するなど、バリアフリーに配慮した造りになりました。



傍聴の手続きはどこでするの？



本会議の当日に、議会事務局の前で受付します。
6月定例会を傍聴して、新しくなった議場をご覧ください。

議場で磁気ループシステムが利用できます

磁気ループシステムとは・・・

○高齢者や難聴者の方に、「聞こえ」をサポートする設備です。
○補聴器では聞き取りにくいスピーカー音声を、直接磁気ループアンテナから個人の使う補聴器（コイル付）、専用受信機で受信し、明瞭に聞くことができます。
○傍聴の際にループ用受信機も準備していますので、希望される方は議会事務局までお申し出ください。



磁気ループ専用受信機

6月定例会のお知らせ（予定）

■日程

6月9日	本会議
20日～22日	本会議「一般質問」
23日～27日	常任委員会・分科会（土日除く）
29日	常任委員会
7月1日	本会議

■一般質問予定者

鎌田修悦、菅原琢哉
佐藤宏悦、田中勉（秋水会）
齊藤勝（そうせい）
見上万里子（市民クラブ）
小林一夫（フロンティア秋田）
藤枝隆博（社会・市民連合）
佐藤純子（日本共産党秋田市議会議員団）

次回のあきた市議会だよりは
平成28年8月19日
発行予定です。



※秋田市議会では、本会議、常任委員会、分科会などの傍聴ができます。
日程および一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。